

社会資本総合整備計画 事後評価書

計画の名称	踏切事故の解消による安全・安心の確保(防災・安全)													
計画の期間	平成30年度～令和04年度(5年間)										重点配分対象の該当	○		
交付対象	大阪府,富田林市,泉佐野市													
計画の目標	法指定された踏切について、課題の抜本的対策となる限度額立体交差(鉄道高架)により当該踏切を除去し、交差道路を合わせて整備することにより、歩行者、児童等の安全や通行の円滑を確保するとともに、鉄道による地域分断を解消し、地域の発展や活性化を図るものである。													
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)		17,265	A	17,265	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C/(A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標(定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		H29当初	H31末	H34末
1	踏切除却することによる踏切事故確率の減少			
	踏切事故確率の減少	0%	0%	100%
	踏切数(2)の減少＝踏切事故確率の減少(％)(喜志第2号踏切)			
2	踏切における渋滞解消を図る			
	1日あたりの遮断時間の減少	210分	210分	0分
	1日あたりの踏切遮断時間＝【当初：H26踏切実態調査データ(喜志第2号踏切)】			
3	踏切拡幅することによる安全な歩道空間の整備率の向上			
	安全な歩道空間の整備率の向上(泉佐野8号踏切)	0%	100%	100%
	安全な歩道空間の整備率の向上(泉佐野8号踏切)			

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
踏切事故の解消による安全・安心の確保(防災・安全)(その2) 計画の期間：H29～H34(6年間) 計画の期間が6年間のため、整備計画を2つに分けて登録												

A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
道路事業	A01-001	道路	一般	大阪府	直接	大阪府	都道府 県道	改築	（主）美原太子線	踏切除却（交通連携） L=1.0km	富田林市						7,000	1.1	-
		P32より。																	
	A01-002	道路	一般	富田林市	直接	富田林市	市町村 道	改築	（他）桜井1号線	踏切除去	富田林市						1,000		-
	A01-003	道路	一般	泉佐野市	直接	泉佐野市	市町村 道	改築	（他）羽倉崎新安松線	踏切拡幅 W = 10.55m	泉佐野市						265		-
	A01-004	街路	一般	大阪府	直接	大阪府	S街路	改築	3・4・221-3大県本郷線	バイパス L=0.6km	柏原市						9,000		-
		P32より。																	
											小計						17,265		
											合計						17,265		

事後評価	
事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
大阪府道路室で評価を実施	令和4年4月
	公表の方法
	大阪府ホームページに掲載
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	踏切事故の減少等に向け、事業実施中
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	
特記事項（今後の方針等）	
令和3年度より踏切道改良補助に移行した。 引続き同事業の着実な進捗を図る。	

目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値 / 実績値		目標値と実績値に差が出た要因
1			
	最 終 目標値	100%	令和3年度より踏切道改良補助に移行
	最 終 実績値	0%	
2			
	最 終 目標値	0分	令和3年度より踏切道改良補助に移行
	最 終 実績値	210分	
3			
	最 終 目標値	100%	
	最 終 実績値	100%	